提　　言　　書

菊　川　市　議　会

令和９年度当初予算編成に対する提言書

１　一般会計予算決算委員会からの提言について

基本方針１ ≪次世代≫ 希望と夢あふれる次世代を育てるまち

- 加茂小学校放課後児童クラブでの退所理由として、受け入れ環境についての声を聞いた。磐田市は民設民営放課後児童クラブを開設しており、今後、保育園のように民間委託をしていくことも考えられる。こどもの人数のピークを勘案し、あえて公共施設を造り投資をするよりも、認定こども園を利用し１号認定の方が午後２時に帰られた後、認定こども園で学童を受入れる形の研究をするなど、より一層の取組に努められたい。

- ファミリーサポート事業について、育児支援の選択肢が多いことは非常に良いことではあるが、利用が限定的であることから、周知方法を改善し活用を促すこと。また、ほかに必要な事業への予算の振り分けを検討するなど事業自体を精査し、より一層の取組に努められたい。

- きくすく妊活サポート事業は拡充され、助成制度の利用者からは「行政に相談し心強く感じた」という声もあり成果も見られる。更なる少子化が懸念されるなか、一人でも多くの方がこどもをもうけていただけるよう、より一層の取組に努められたい。

- 国や県からの補助を受け、放課後子ども教室事業を行っており、地域コーディネーター及び教育活動サポーターへは市から手当の支給をしている。今後更に、コミュニティ協議会や、老人会、社会教育委員、生涯学習委員等様々な方を巻き込んだ事業展開をしていくよう、より一層の取組に努められたい。

- 菊川市は図書個人貸出冊数が多く、県内でも比較的上位に位置しており、利用環境が充実していると感じる。近年、書籍離れが進んでいるが、より多くの方に図書館を利用していただけるよう図書館周辺でのイベント等の開催時に図書館利用の呼掛けを行い、より一層の取組に努められたい。

基本方針２ ≪安心≫　日々の暮らしに安心を届けるまち

- 防災に関する市民学習会のテーマについて市民アンケート等から意見を聴取し、市民が興味あるテーマを設定し、より多くの市民が参加できるよう、より一層の取組に努められたい。

- 地区防災連絡会や避難所運営委員会へ更なる女性参画を推進する施策をより一層進めていくよう努められたい。

- 災害対応訓練では様々な条件設定をすることにより、より一層多様な対応が可能となるよう努められたい。

- 菊川市における災害時の応援受入れを円滑に行えるよう、確実な災害時受援体制を構築し、単一のルートに依存をしないこと。また、多重性と多様性を持たせた災害時応援協定の締結を行うと共に、より一層の取組に努められたい。

基本方針３　≪幸福≫　笑顔と活力あふれる幸福を実現できるまち

- 後期高齢者医療の人間ドック受診者数が１割増えたが、高齢者健診受診者数は例年どおりであった。健康診断を推進するにあたり２、３年に１回は全体のスクリーニングを行い、未受診者には、その理由に合わせたアプローチを行う必要があると考える。あわせて、自身の健康管理への気づきや元気で暮らすための役立てになるよう、受診しやすい環境の充足程度を図る指標等の設定や、健診、人間ドック受診の環境整備を含め、より一層の取組に努めらたい。

- 「きくがわキッズけんこうマイレージ」が始まり参加人数が増え、祖父母が孫と一緒に参加するなど非常に良い取組であると評価する。さらなる充実した取組に向け、健康づくり推進委員が健康に関する知識を深められるよう研修を受講しやすい環境整備を進めること。あわせて、イベント時での「茶ちゃっと！出張健康チェック」の実施を継続し、自身と家族の健康意識を更に高められる機会を提供し、家族から地域に広がっていく、いなべ市の「元気リーダー」のような、より一層の展開に向け取組に努められたい。

- 現在、様々な関係機関との連携のもと若年層へ向け自殺防止に関する普及啓発を行っているが、こどもや若者に向け「自殺をしてはいけない」ことへの「いのちを支える自殺対策」をより一層努められたい。そのためにも、企業、学校だけでなく、スポーツ、文化活動、地域内でのつながり等幅広い機関との連携がなされるよう、より一層の取組に努められたい。

- 行政主催の「いきいきサロン」はフレイル予防に強く、運動機能の低下に少し心配がある方がいれば、介護予防につなぐことができる。一方、「地域のサロン」は、地域の中で居場所づくりやコミュニケーションを図る場を提供している。サロンの種類にも色々あることをわかりやすく広報するなど、参加者を増やす取組が必要である。また、地域サロンについては計画作成や経理などの事務的な負担の軽減を図っていくことも重要であることから、より一層の取組に努められたい。

基本方針４ ≪快適≫ 賑わい快適な暮らしを支えるまち

- 建設課及び県からは、河川愛護事業により草刈機を借用できるが、より一層利便性の高い貸出方法の検討に努められたい。

- 樋管、樋門の操作が必要となる時は、台風などの気象条件の悪い時が多く、アクセスや操作において非常に危険を伴うため、管理者の体力面を考慮した年齢制限を検討すると共に、現場の環境整備も実施されるよう、より一層の取組に努められたい。

- 緊急輸送路沿いの危険なブロック塀の撤去が進められているが、こどもの安全を守るためにも通学路にある危険なブロック塀の撤去についても、より一層の取組に努められたい。

- ＬＥＤ防犯灯付替は、自治会の要求基数が減っており更新が進んでいるが、ゼロカーボンに向け確実に付替が完了するよう、より一層の取組に努められたい。

- コミュニティバスは、病院や買い物、菊川駅へのアクセスが主な利用目的である。今後、健康増進を目的としてコミュニティバスを利用する方も増えると思われることかから、健康寿命延伸のための運行ルート見直しを検討するなど、より一層の取組に努められたい。

- 菊川市への外国籍転入者は今後も増加する可能性があることから、自治会ごみステーションの看板案内の多言語化を更に進めるとともにゴミの出し方や分別指導においても引続き丁寧に進め、より一層の取組に努められたい。

基本方針５ ≪躍動≫ 躍動する新たな魅力で可能性を切り拓くまち

- 火剣山キャンプ場へのアクセス道路は、狭くて順路がわかりにくいため、キャンプ場の利用促進と地元の住民の安全確保のために、早急に整備に着手されたい。

- 就労支援事業のその後の追跡調査は、支援事業の成果の確認や伴走支援にもつながるため、補助金の有無に関係なく、より一層の取組に努められたい。

- 農林水産省は日本茶をはじめとする３産品を、新たに地理的表示（ＧＩ）として登録をしたが、「深蒸し菊川茶」は３年前にＧＩ登録されていることから日本茶のＧＩ登録との差別化をして知名度を上げるよう、より一層の取組に努められたい。

- 聖地巡礼マップや設置看板の更新、及び、メンテナンスを定期的に行うとともに、サイクリングやウォーキング事業においても継続した、より一層の取組に努められたい。

- 魅力発信事業の評価は、情報発信量や回数による結果が評価指数になりがちであるが、その情報発信により移住希望者からの移住相談を受け、移住・定住にどうつながったかの検証を行い、その後の魅力発信事業にフィードバックされるよう、より一層の取組に努められたい。また、30代・40代の方からの移住、定住相談が

多く、定住される方においては、子育てや環境に加え、転職等も考える必要があることから、市内の企業とも連携を密にし、より一層の取組に努められたい。

- 生活困窮者自立支援と障害者自立支援は、行政の窓口だけでは解決できないため、民間支援団体や地域住民とつながる仕組みづくりを推進し、官民連携による自立支援を通じて、より一層の取組に努められたい。また、障害者雇用では、雇用の場を広げる狙いがある一方で、受け入れる企業側の問題や労務管理の丸投げ、仕事の未付与などの不適切事例が大きな懸念となっていることから、行政と企業との連携及び就労者への生活面や精神面を含めたフォロー体制においても行政がバックアップできるよう、より一層の支援や取組に努められたい。

基本方針６ ≪創意工夫≫ 創意工夫でつなぐ新たな財源を創り出すまち

- 職員研修の成果評価は、受講実績や能力向上の観点のみでなく、研修で得た知識が業務改善や政策立案にいかに活かされたかという観点でも評価につながるよう努められたい。また、これをしっかりと改善につなげられるよう、出された意見を一覧化するなど全ての職員が情報を共有し業務改善案の水平展開を図る活動とするよう、より一層推進し努められたい。

- 各金融機関の手数料が高騰している。手数料単価の安い電子決裁を推進するなど、より一層の経費節減に努められたい。

- 給食センターでは、蒸気ボイラー２機の更新に伴いエネルギー使用の効率化が図られ、ガス代約600万円の節約につながったことは削減額としても非常に大きく評価する。しかし、給食センターは老朽化が進み、様々な機材が古く、節約効果も踏まえた修繕や機材の入替え等引き続き取り組んでいくべき課題は数多く積み残されていることから、今後、計画策定を行い予算拡充も含め、より一層の取組に努められたい。

２　全国初「こども・わかもの参画宣言」都市のまちづくりについて

今年度、初めて市内の高校２校で実施した議会報告会や今年度も実施したこども議会等により、小中高校の児童生徒から多くの意見・提言を聴くことができた。若者の生活の中で感じる現場からの生の声は、私たち大人とは違う視点からの意見・提言であり、時にはなるほどと思わせる新鮮なものもいくつかあった。これらを議会として精査し報告する。また、そのような若者からの新鮮かつ貴重な意見を聴いたり、活かしたりする空間や当事者である若者が行動を起こす機会の場について提言する。

① 若者の意見・提言から

こどもたちは各年代で居場所を求めている。小学生からは、今年のような猛暑が続く夏場に友達との交流の場として、冷房があり身近にある地区センターや会館等の部屋を開放して欲しいとの意見があった。中高生からは飲食可能な学習や会話を楽しむ場が不足しているという意見が多くある。移動手段が限定され行動範囲が比較的狭いこどもたちにとって、静かに過ごしたい空間と騒いでも迷惑にならない空間が近くに多くあることが望まれている。また、賑わいの場として新たに橋上化、南北自由通路設置がされた菊川駅周辺にファストフード店などくつろげる場の創出への要望も強い。世帯が共働き核家族化された今、親が不在の放課後や休日に大人の目が届く居場所づくりを静かさ・賑やかさの両面で進める必要がある。

徒歩や自転車で登下校する小中学生からは、生活道路を猛スピードで通過する危険車両対策や歩行者目線での歩道・横断歩道改善要望など、交通安全に対する意見もあった。道路交通法の改正により、生活道路の制限速度変更や自動車での自転車追い越しルール等改善はされているが、道路標識・表示によるスピード抑止等のハード面と交通安全教室実施や通学路点検に児童から集約した意見も積極的に取り入れるなどのソフト面の両面で施策を進める必要がある。

動物愛護の観点から、飼い主のいない猫の去勢手術や保護、広くは有害鳥獣対策にもこども目線の声がある。ペットの責任ある飼育、荒廃地を増やさず、野生動物と人間社会の生活空間のすみ分け管理への取組を推進する必要がある。

高校生からの賑わいあるまちづくりについての提言では、市内に人気のあるラーメン店が多いことから、集約してラーメンストリートを造るアイデアや、お茶と美容を掛け合わせた商品の開発・販売、深蒸し菊川茶専門店などのお茶に特化したショッピングモールの提案もあった。そのようなラーメン店を含む飲食店や、美容・装飾品・食品などの雑貨販売を始めようとしている起業者は、初期投資や店舗の調達に苦慮している。その部分のマッチングを行政（ＥｎＧＡＷＡ）が担う必要がある。昔からの商店街（グリーンモール等）の空き店舗を信頼性の高い行政が持ち主から借り受け、お試ししたい起業者の大屋となって支援するスタートアップモールに繋げてはどうか。（長泉町事例参照）

② 若者の意見聴取、活動提供の場について

先に述べたように、若者はより環境の良い居場所を求めて、時には進学等により

市外へ転出し、或いはそのような想いが満たされないまま市内で生活している。重要なのは転出の有無にかかわらず、一人でも多くの若者が菊川市に愛着を持ち、自らができることから行動を起こす力を養う機会の提供を行う施策をさらに推し進めることが必要である。

これまで教育現場や行政では市民協働センターがその役割を担い先進的な活動を展開してきた。これからは更にそれらを実効性あるものとして具現化できるよう、県内の大学や企業、延いては産業支援センターの起業者や団体等と交流する機会を設けてはどうか。若者はアイデアを実現実行するための課題を話し合うことができ、一方で起業者は若者の生の声を事業内容に活かせる等、互いがブラッシュアップを図ることができる場になると考え提案する。機が熟せば、高校生対象のビジネスコンテストを開催しても良いのではないか。

行政側は、現在の資金面での援助をさらに拡充すべきと感じる。菊川市１％地域づくり活動交付金にとどまらず、ふるさと未来塾などには事業として予算を拡充し、実効性のあるものに対してはアイデアの実現実行までを支援すること。また、交付金等の活用にはある程度の自由度を持たせるなど、若者の成長を応援するための手厚い支援を要望する。

こどもたちから「行政の取組をもっとわかりやすくしてほしい」、「市の仕事についてもっと知りたい」との意見があった。この声は、菊川市のまちづくりへの関心の表れであり、こども・若者の参画を進めるためには、市の仕事や取組をこどもたちにもわかりやすく伝えることが重要である。市政について知ることが参画への第一歩となる。こどもたちが行政を身近に感じ、自らの意見がまちづくりにつながることを実感できる環境づくりが必要である。

これらにより、全国初の「こども・わかもの参画宣言」都市として、こども若者誰でも夢叶う　幸せ創生都市”菊川”に向かうよう提言する。

以上